

第1学年国語科学習指導案

日 時 平成18年11月9日(木)5校時

場 所 遠野市立青笹小学校 1年教室

児童数 25名

授業者 沖館 玲子

1 単元名 くらべてよもう

教材名 「じどう車くらべ」(説明文)

2 単元について

(1) 児童について

児童はこれまでに、読み聞かせや音読などを通して、国語学習に興味を持ち、入門期の大切な学習を行ってきた。「はなのみち」では、「だれがどうした」ということに気をつけ、語や文のまとまりをとらえる学習をした。また、「おむすびころりん」や「大きなかぶ」では、場面の様子を想像して読む学習をしてきた。これらの学習から子どもたちは、視写などの活動を通して語句や文のまとまりをとらえられるようになり、主述に気をつけて読むようになってきた。

説明文「いろいろなくちばし」では、「問い」と「答え」という組み合わせを学習し、読み取りの後に自分の好きな鳥についての文作りを行い、説明文の簡単な文章構成の学習を経験してきた。物語文と同様、主述などの言葉を手がかりに内容をとらえれば良いことに気がついてきた。

しかし、まだ語彙が不足しており、どの子も大事な語句に着目して内容の大体をとらえられるとは言い難い。

読書は、読み聞かせや、週末読書への取り組み、読書月間などで、本を読もうとする意欲にあふれている。本のジャンルを広げられるよう、本の紹介などを行っている。

(2) 教材について

「じどう車くらべ」は、この時期の児童の興味・関心の対象として代表的なものの一つ、自動車を取り上げた説明文である。説明の仕方は、「話題・問題提起 問題に対する説明」を自動車の「しごと」と「つくり」という二つの事柄の因果関係で述べる形をとっている。

この文章は、まず前書きの部分で児童の関心をいろいろな自動車に誘っている。そして、それぞれの自動車がどんな「しごと」をしているか、そのためにどんな「つくり」になっているかを読者に問いかけ、疑問や着眼点の芽が読み手の内部に芽吹くようになっており、児童にとって興味深く学習できる教材である。

また、身近な乗用車、バスから始まり、トラック、クレーン車と、同じ文章構成で繰り返し紹介し、文章構成が理解しやすくなっている。

更に、自分でも簡単な説明文を書くという単元構成になっており、主体的に書く学習につなげることができる教材となっている。

(3) 指導にあたって

「じどう車くらべ」は、この時期の児童のとても好きな題材を取り上げている。それぞれのじどう車の説明が「しごと」についてと「つくり」についてのまとまりから成っていることを学習のなかで気づかせていく。また、動作化したり、写真を見たりして、その理解を深めていきたい。

読み取りの視点の「しごと」、「つくり」にサイドラインを引き、それらを常に明確にしていく。また、「しごと」の部分を書き写し、そのためのつくりや意味を書き込みさせる活動を仕組んでいきたい。そのことにより、内容の理解を深めていきたい。

また、読み取ったことを参考にし、簡単な組み立てを考えて、好きな自動車の仕事と作りを説明する文を書き、説明する文の書き方を定着させていきたい。

3 単元の目標・評価規準

自動車の仕事と作りを表す語や、その関係に興味をもって読むことができる。

- ・三種類の自動車について、仕事と作りの関係を考えながら内容の大体を読む。(読 イ)
- ・語や文としてのまとまりを考えながら声に出して読む。(読 エ)
- ・乗り物の本などに興味を持ち、探して読む。(読 ア)
- ・教材文を参考にし、簡単な組み立てを考えて好きな自動車の仕事と作りを説明する文を書く。
(書 ウ)
- ・片仮名で書く語を読んだり、書いたりする。(言 イ(ア))

4 単元の指導・評価計画(8時間)

1年「いろいろなくちばし」

次・時	学習目標	学習内容	評価規準
一次 1	・全文の通読をし、自動車の仕事などに興味を持つことができる。	・教師の範読を聞く。 ・知っている自動車の名前や仕事を話し合い、じどう車はかせになることを知る。 ・新出の漢字や片仮名の学習をする。	(話・聞) 知っている車について意欲的に話している。 <観察>
2	・全文を通読し、およその構成を知ることができる。	・「それぞれの～いますか。」「そのために～になっていますか。」などの問いの文に気づいてじどう車はかせになるための学習の計画を立てる。	(読) 問いの文型について気づいている。 <発言>
二次 3	・バスと乗用車の仕事と作りを読み取ることができる。	・「バスやじょうよう車は、～をはこぶしごとをしています。」という文に気づき、サイドラインを引き、その後書きをし、仕事を読み取る。 ・「そのために」「ざせき」「ひろく」「けしき」「大きなまど」などの言葉や絵をもとに仕事に合わせた作りを読み取る。	(読) バスや乗用車の仕事と作りを読み取っている。 <発言・ノート>

4	<ul style="list-style-type: none"> トラックの仕事と作りを読み取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「トラックは、～しごとをしています。」という文に気づき、サイドラインを引き、その後視写をし、仕事を読み取る。 「そのために」「ひろいにだい」「おもいにもつ」「タイヤがたくさん」などの言葉や絵をもとに仕事に合わせた作りを読み取る。 	<p>(読)トラックの仕事と作りを読み取っている。</p> <p><発言・ノート></p>	
	<ul style="list-style-type: none"> クレーン車の仕事と作りを読み取ることができる。 (本時) 	<ul style="list-style-type: none"> 「クレーン車は、しごとをしています。」という文に気づき、サイドラインを引き、その後視写をし、仕事を読み取る。 「そのために」「じょうぶなうで」「のびたりうごいたり」「しっかりしたあし」などの言葉や絵をもとに仕事に合わせた作りを読み取る。 	<p>(読)クレーン車の仕事と作りを読み取っている。</p> <p><発言・ノート></p>	
三次	6	<ul style="list-style-type: none"> はしご車の仕事と作りを書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> はしご車の仕事と作りを絵をもとに話し合い、説明文を書く。 	<p>(書)はしご車の説明文を書くことができる。</p> <p><ノート></p>
8	7	<ul style="list-style-type: none"> 好きな自動車の仕事と作りを考えて書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 好きな自動車の仕事やと作りをメモする。 メモをもとに、構成を考えながら説明文を書く。 	<p>(書)好きな自動車の説明文を書くことができる。</p> <p><ノート></p>

1年 ちがいをかんがえてよもう「どうぶつの赤ちゃん」

2年 じゅんじょに気をつけてよもう「たんぼぼのちえ」

5 本時の指導

(1) 本時の目標

クレーン車の仕事と作りを、言葉や絵を手がかりに読み取ることができる。

(2) 仮説とのかかわり

ア 手立て 「書く活動」にかかわって

【とらえる書く】

学習課題は事前にプリントをノートに張っておき、視点になる言葉を書き込むようにさせ、目的意識を持たせる。

【わかり合う書く】

入門期のため書き込みは教師と話し合いながら行う。絵カードを持たせ、作りを理解するために、車体の様子から分かることも書き込みさせ、読みを深めていく。

【見つめ直す書く】

まとめ方の学習段階のため、課題についてふりかえり教師と一緒に話し合い、まとめた文を書かせる。

イ 手立て 「支援や評価」にかかわって

書く活動への取り組みを机間巡視しながら声がけし、励ます。ノートは集め、書き込んだことに、コメントをそえて認め励まし、達成感を持たせていく。

(3) 本時の展開

過程	学習活動	指導上の留意点	評価と支援
とらえる 5分	1 前時を想起する。 2 学習範囲を音読する。 (一斉読み) 3 学習課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> クレーン車は、どんなしごとをして、そのために、どんなつくりになっていますか。 </div> 【とらえる書く】 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 目的意識 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時のまとめをもとに振り返る。 ・場面を確かめるために、一斉に音読をさせる。 ・本時の学習は、「クレーン車」の「しごと」「つくり」であることをおさえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の課題がわかったか。 <観察>
見通す 5分	4 課題を解決するための手がかりをおさえる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「クレーン車は、」「しごと」「しています。」「そのために」「あります。」「ついています。」などの言葉に注目するとよいことをおさえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・解決の見通しを持つことができたか。 <発言>

<p>読み深める</p> <p>25分</p>	<p>5 クレーン車の仕事や作りについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サイドライン ・ 視写 <p>【わかり合う書く】</p> <p>自己解決力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 話し合い <p>【わかり合う書く】</p> <p>有用感</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指名読みを行い（二人）、主語や文末表現に気をつけさせなら、仕事には波線、作りには直線を引かせる。 ・ 「～は、～しごとをしています。」の文をおさえ赤線を引かせる。 ・ 視写をし、「おもいもの」を「つりあげる」仕事とはどういう仕事かをおさえる。 ・ 直線を引いたところを発表させ、青線で確かめる。 ・ 絵をもとにじょうぶなうでの理由と、あしがついてい理由を考え発表させる。 ・ 児童にもカードを持たせ、作りについて分かることを書き込みさせる。 ・ 「～たり～たり」をおさえさせる。動作化を行いその動きを確かめさせる。 	<p>A 前時までとくらべながらしごとに合わせた作りの特徴を見つけ、発表をしている。</p> <p>B しごとに合わせた作りの特徴がわかる。</p> <p>C への支援 言葉の意味を教え、仕事と作りを理解させる。</p> <p><ノート・発言></p>
<p>まとめる</p> <p>10分</p>	<p>6 本時のまとめをする。</p> <p>【見つめ直す書く】</p> <p>内容理解</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 板書を振り返り、わかったことを発表させる。 ・ 発表したことを全体でまとめ、それをノートに書かせる。 ・ 学習のふりかえりをさせる。 	<p>(読) クレーン車の仕事や作りが捉えられたか。</p> <p><発言></p>

(4) 本時の評価規準

クレーン車の仕事と作りを、言葉や絵をもとにして、読み取ることができる。

< 具体の評価規準 >

A クレーン車の仕事と作りを、叙述に即して捉え、バスやトラックなどと比べながら発表している。

B クレーン車の仕事と作りを、叙述に即して捉えている。

C (努力を要すると判断する児童への支援)

絵を活用し、仕事に合わせた作りを具体的にとらえさせる。

